

第 9 回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会 資料

【日時】 令和 7 年 8 月 2 8 日（木）
1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

【場所】 福知山市厚生会館 中会場

本日の再検討委員会では以下を議題として検討を行います

本日の議題

1. 再検討結果及び市民意見公募について
2. 今後のスケジュール(案)について

1. 再検討結果及び市民意見公募について

市民の方々に再検討でどのような取り組みを実施したかやその結果、既存の基本計画からどのような内容の見直しが行われたのかをご確認・ご意見いただく資料を作成しています

これまでの検討等における取組（1p）

1枚目には、これまでの再検討に向け、市民懇談会や地域説明会の開催に加え、サウンディング型市場調査なども実施しており、広く様々なご意見をいただきながら検討を進めてきた内容を整理し、表形式でまとめています。

再検討の結果（2p）

2枚目には、再検討の結果「当初の基本計画」から具体的にどの部分がどのように変わったのかなどが一目でわかるように整理しています。特に、機能・規模・場所などの視点で再検討の結果を踏まえた変化の変更点等を記載する形にしています。

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

再検討結果に係る市民意見募集について

資料2

福知山市は令和5年7月に「福知山市新文化ホール基本計画」を策定しましたが、この基本計画に対して多くのご意見があったことから、文化振興の拠点として市民生活を豊かにしていくための新文化ホールは、できるだけ多くの市民のみなさまの理解を得て整備を進めていくことが大切であると考え、基本理念は大切にしつつ、機能、規模、場所、スケジュールなどについて、市民のみで組織された福知山市新文化ホール再検討委員会を再検討することとしました。
本委員会は市民の協働で行いますので、市民の皆さんもぜひご協力いただきますようお願いいたします。

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

市民による選考を経た公募委員4名を含む市民10名で構成された再検討委員会が再検討を行いました。市民懇談会でいただいたご意見を踏まえた議論に加え、サウンディング型市場調査への参加、先進地視察などを行いながら再検討を進めました。

●新文化ホールの必要性

新文化ホールの整備については市民アンケートにおいて「不要」とあるとの声の一部（約8%）あるものの、それ以上に「必要」（約36%）、「機能や規模、場所、費用などの検討を行ったうえで判断する」（約54%）との声があることから、再検討委員会としては市民生活を豊かにしていくために「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ」新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点」という基本理念に沿った本当の文化に触れられる新文化ホールを整備することを前提として再検討を行うことを確認しました（第2回再検討委員会）。

●新文化ホールは何のための施設か

第1回市民懇談会で「市民が新文化ホールでやりたいこと」を確認した結果、市民は新文化ホールに「音楽」「演劇」「舞踊」など幅広い文化芸術の実践、体験の場を求めていることが分かりました。再検討委員会では、これら市民ニーズを踏まえて基本計画の再検討を行いました。



再検討委員会の様子

これまでの検討経過については、右の二次元コードよりご確認くださいませ▶▶▶



●新文化ホール再検討委員会 検討経過

（傍聴者延べ100名・参加市民約100名）

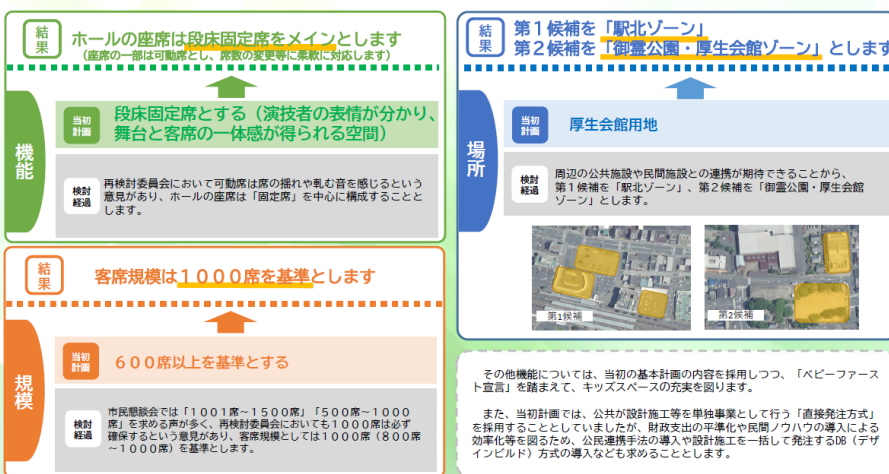
開催日	主な議事等
第1回 令和6年9月26日	・新文化ホールの検討に係るこれまでの経過について ・市民アンケートの結果について
第2回 令和6年11月12日	・市民が求める新文化ホール及び再検討のポイントについて ・他都市文化ホールについて
第3回 令和6年12月24日	・規模で考える新文化ホール ・規模についての意見の整理
第4回 令和7年2月7日	・場所を考える新文化ホールの強みと課題 ・場所についての意見の整理
第5回 令和7年3月26日	・地域別市民説明会の開催状況について ・サウンディング型市場調査における質問について ・令和6年度の再検討内容について
サウンディング型市場調査 令和7年4月26日	・建設候補地について ・事業実施に関する提案等について ・その他、事業実施にあたって行政に期待する支援や配慮事項
第6回 令和7年5月27日	・サウンディング型市場調査について ・固定席と可動席、駐車場について
他市ホール視察 令和7年7月2日	（1）金沢市市民会館 （2）青森市立芸術大学劇場信吉記念ホール （3）カレリアかめおか
第7回 令和7年7月10日	・建設候補地、固定席と可動席について
第8回 令和7年8月1日	・整備費の単年度負担（目安）について ・施設候補地について
第9回 令和7年8月28日	・市民意見公募について

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

再検討結果の主なポイント

一 再検討結果に係る意見募集について

新文化ホール基本計画の再検討については、「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ」新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点」という基本理念を踏まえて、市民の皆さんにご協力いただきながら再検討を進めてまいりました。再検討のポイントとしては特に市民の皆さんの関心が高い「機能、規模、場所」を中心に見直しを行いました。これらの再検討結果について、皆さんのご意見をお聞かせください。



3p・4pについては、参考資料の位置づけで主な意見や再検討委員会の各段階における検討の経過などが分かるような形で整理しています

参考資料編【1/2】(3p)

3枚目の参考資料編(1/2)では、機能・規模・場所の目線で市民懇談会やサウンディングでどのような意見が出ていたのかなどを要約整理し、掲載しています。

特に、市民懇談会でのご意見については、どのような部分に活かされているかなども見える形での整理を行っています。

参考資料編【2/2】(4p)

再検討の中で、市民懇談会での意見やサウンディング結果などを踏まえ、どのように機能・規模・場所の検討が進み2pの結論に至ったのかなどを要約し、文書化しています。

分かりにくい箇所や、重要議論の抜け漏れなどについて、ご意見があればご教示いただければと思います。

福知山市新文化ホール基本計画の再検討について～参考資料編【1/2】～

	市民懇談会等での主なご意見	サウンディング型市場調査での主なご意見
当初の基本計画	市より無作為抽出の福知山市民3,000名へ市民懇談会へのご参加をお願いし、基本計画に関する様々なご意見をいただきました。 ▶参加者: 延べ198名 ※同時に実施した開催アンケート回答者は770名	新文化ホール整備に関する意見を民間事業者等から幅広く意見・提案を募りました。当日は3社(うち1社はオンライン参加)、書面参加は7社にご協力いただきました。サウンディングには再検討委員も参加しました。 ▶協力事業者: 10社
機能	段床固定席 ※鑑賞・体験、人材育成、交流、創造、安心・安全などの役割を想定 ◎全体に関する考え方 子どもや市民が活躍できる場、ワクワクする施設、未多く使われるホール、福知山のシンボルとなる施設、有名人やアイドルが来てくれるようなホール など ◎想定される活用方法 プロアマチュア等によるライブや舞台、食・音楽等のイベント・フェス、鑑賞・展示、成人式・発表会等の市民行事、料理・習い事等の体験、地域交流・子育て交流 など ◎機能イメージ 広いステージ、大スクリーン、フレキシブルな舞台、固定椅子・階段式の座席、練習室、キッズスペース など 市民利用にもプロの公演にも対応できる機能を検討	他市ではおまつりや隣接公園での行事を組み合わせてホールを活用している事例もある イベント等がない際にも、こどもの室内遊び場として活用することで施設の稼働率を上げ、地域の交流の場となることが期待できる 可動席の導入や舞台設備の柔軟性を持たせ、市民参加型のイベントにも興行にも対応できるようにする 日常的に人の出入りがある公共施設を併設し、市民が普段から来館する機会がある形式にすることが望ましい 再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーなど建物性能を考慮する必要がある
規模	600席以上を基準とする 【市民ニーズ】 多くの座席数、2000名の席、1000席以上の客席、500人以上(アマチュア)、人数は600以上が十分 など 【市民懇談会】 「500～1000席と1001～1500席と1501席～2000席の3段階で規模についてご意見をいただいたところ、①②の規模に回答が集中 一方で建設費や運営費が一定の規模となるため、市の財政や市民に及ぼす影響を心配する意見も出た」 回答結果を踏まえ、500～1000席、1001～1500席規模に規模を絞り、再検討委員会で検討を実施	市民が利用しやすい300～500席前後、500～700席前後のホールを設置し、他の都市よりも稼働率を上げてはどうか 都市部でリアルイベントを行い、その様子をオンラインで全国へ配信する形式が増えていることから、興行中心の大型ホールの開設は全国的に控える方向にある 興行・観光用の800～1200席のホールと市民用の200～300席のホールの2つを建設してはどうか 現状と同程度の1000席規模などが想定されるが、1000席にする明確な根拠はない その他、2社より「400～600席」、「800席程度」との提案があった
場所	厚生会館用地 【市民ニーズ】 公共交通機関を使って行けると、駅からのアクセスの良さ、広い場所、駐車場が確保できる場所 など 【市民懇談会】 「新文化ホール基本計画」で示されていた建設候補地6か所等に関する参加者の声は、「駅近公園」を評価する数が最も多いものの、他の場所についても評価数が大きく出ていることはなかった また、駅前市有地、相次市(市民広球場)、駅南など新たな建設候補地に関する多様なご意見をいただいた 追加候補地も含め、網羅的に民間事業者目線での意見を確認	速くても駅から徒歩15分圏内を推奨する 福知山城やその城下町周辺に建設し、歴史と文化を組み合わせることと地域ブランディングを強化し、遠方からの観光客を誘致できる拠点の集積化、既存顧客を含めた新たな魅力開発のため三段池エリアを推奨する 郊外の場合は、建設に使用する土地が広く確保できる可能性が高く、建物計画の幅が広がるメリットがある 駅付近であれば多くの集客を見込むことができる 多くの方に利用していただくため、市街地エリアを建設候補地とした方がよい

福知山市新文化ホール基本計画の再検討について～参考資料編【2/2】～

	当初の基本計画	基本計画再検討委員会での大きな検討の流れ	今後の方向性
機能	段床固定席 ※鑑賞・体験、人材育成、交流、創造、安心・安全などの役割を想定	懇談会意見を踏まえ市民利用にもプロの公演にも対応できる機能を検討 鑑賞等の快適さなどを踏まえ、固定席をベースとした検討を想定 市民利用にもプロの公演にも対応できるサイズを想定	段床固定席をメインとし市民利用にもプロの公演にも対応できる機能整理 ※基本構想で整理された基本理念・役割に加え、懇談会で多くの意見をいただいた市民利用にもプロの公演にも対応できる機能とする
規模	600席以上を基準とする	懇談会意見を踏まえ、500-1,500席規模に絞った規模での検討を実施 800席～1,200席規模への絞り込み 将来的な更なる詳細検討に向け800席～1,000席規模への絞り込み	1,000席規模を基準とする ※1,000席規模を基準としつつ、一部は座席の一部は可動席とし、席数の変更等に柔軟に対応する
場所	厚生会館用地	基本計画で検討された候補地に、市民懇談会等でも意見が出た候補地を対象に、候補地検討を行った 20候補地すべてを対象に民間事業者へのサウンディングを行い、事業者目線の意見について確認した エリアを設定し中心市街地に候補地を絞り込み 中心市街地の中でも、駅北ゾーン・御霊公園・厚生会館ゾーンに絞り込み	第1候補地を駅北ゾーン・第2候補地を御霊公園・厚生会館ゾーン ※駅北ゾーン：市民交流プラザ、駅北口公園、福知山駅前 ※御霊公園・厚生会館ゾーン：厚生会館用地、御霊公園

再検討委員会において検討いただいた内容について、広く市民の皆さんにお伝えするとともに、その内容について市民意見を公募します

実施概要

意見公募の対象

機能、規模、場所など再検討を行った内容のすべてを対象とします

意見募集期間（案）

令和7年9月中旬～令和7年10月中旬（予定）

閲覧場所

市ホームページ、文化・スポーツ振興室、各支所窓口、市民課情報公開コーナー

意見の提出方法

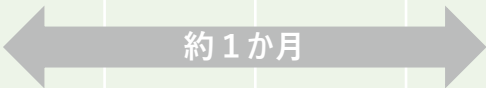
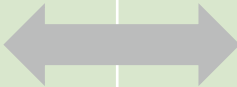
電子メール、電子申請システム、郵送、ファクシミリ、事務局へ持参

市民意見公募で提出された意見については、次回の再検討委員会においてお示しします
再検討委員会にて市民意見を確認した上で、「再検討結果」を市に報告します

2. 今後のスケジュール（案）について

今後のスケジュール(案)としては以下のとおりです

今後のスケジュール（案）

内容	9月			10月			11月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
市民意見公募 ※1か月程度の期間を設けます									
第10回再検討委員会 ・市民意見を踏まえて市への報告内容整理									
市への再検討結果報告									